

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

中津川市青少年健全育成推進市民会議

■ 「子育て親育ちシンポジウム」の実践 ■

1 テーマ 「守ろう子どもたちの笑顔」

当市民会議では、第3回子育て親育ちシンポジウムを「守ろう！子どもたちの笑顔」をテーマとして11月23日（木・祝）に開催した。この大会は、従前中津川市PTA連合会が行ってきた研修大会と、青少年健全育成推進市民会議が行ってきた育成大会を一つにまとめ、中津川市全体として生き生きと笑顔で過ごせる子どもたちの姿を願い、子育てについて共通理解を深め、PTCAとして家庭・学校・地域社会が一体となり、地域ぐるみの子どもたちの健全育成を推進することを主旨として開催している。

2 講演 講師：関正樹さん（大湫病院医師）

「私たちが知らないこどもの世界」～なぜ子どもたちはゲーム・スマホにハマってしまうのか？～と題して、子どもの側の視点で、なぜハマるのか、どういう心理状態なのか、親はどう対処すべきなのかを、具体的な例を示しながらお話いただいた。参加者からは、「ゲーム、スマホについてのルールは親も守らねばならないと認識し、改めて反省した。（保護者）」「ゲームにハマる子どもの視点を少し知ることができ、そこに寄り添えなければ対立するばかりになってしまうのだと気づかされた。（教師）」「子どものためと思いながらも、子どもを責め追い込んでしまいがちな大人、親の姿を今一度根本的に考え直していけないといけないと考えさせられた。（青少年関係者）」といった感想が寄せられた。

3 トークセッション

PTAの代表者、公民館の主事、小学校の校長をパネラーとし、社会教育指導員がコーディネータとなって、「子どもたちの笑顔を守るために」をテーマに、小学校でのあいさつ運動の様子や家庭での親子の触れ合いの様子の写真を見ながら、それぞれの立場でどうしたらよいのかを話し合った。参加者からは、『お父さんお母さんが笑顔なら子供も笑顔』とても心に響く言葉だった。（保護者）

『子供の笑顔を守るには、まずは大人の笑顔から』というまとめに、思わず自分を振り返った。

明日からの朝の校門の挨拶、笑顔で子供たちを迎えたい。（教師）

「結論として子どもの笑顔を守るのは大人たちがいかにいきいきと前向きに生きているかということだと実感した。（青少年関係者）」といった感想が寄せられた。

4 まとめとして

年に1度、このシンポジウムのような機会を作り、親や教師をふくめた地域社会のいろいろな立場の者が、いったん立ち止まって日頃の活動の意味やその値打ちを確かめ、互いの良さを認め合うことは大変意味のあることだ。今後も地域の皆で力を合わせてこの地域に住む子どもたちの背中をそっと押してあげることができるような地域の人づくりに寄与していきたい。

なお、「子育て親育ちシンポジウム」の当日の様子については動画に記録しYouTubeにより配信して、当日参加できなかった保護者や市民が視聴できるようにしている。



写真：トークセッションの様子